

平成24年度 キッズレザープログラム実施事業

報 告 書

平成25年3月

株式会社 日本経済研究所

目次

I	平成 24 年度事業活動.....	2
	1. 本事業の目的.....	2
	2. 平成 24 年度における実施内容.....	2
II	平成 24 年度実施内容.....	4
	1. 実行委員会.....	4
	2. K L P 事業.....	13
	3. 広報事業.....	15
	4. 事業評価.....	37
III	平成 24 年度事業考査と今後の展開.....	38

I.平成 24 年度事業活動

1. 本事業の目的

本事業の実施によって達成したい目標は次の3つです。

1. 皮革に関する正しい知識を持った消費者を育てる
2. 皮革素材の可能性を伝えるモノづくり（生産）現場を育てる
3. 職業選択に皮革産業という職業を選びやすい環境を作る

なかでも特に「1. 皮革に関する正しい知識を持った消費者を育てる」ことに重点を置き、平成 24 年度のキッズレザープログラム（以下「KL P」とします）事業を実施しました。

2. 平成 24 年度における実施内容

具体的に実施した内容は次のとおりです。

■KL P事業の実施に係る役割分担

- ・株式会社日本経済研究所：KL P事業の企画立案・調整・実施補助
広報事業の企画立案・実施
事業評価の企画立案・実施
- ・特定非営利法人コドモ・ワカモノまちing：KL P事業の実施
- ・有限会社でじまむワーカーズ：ウェブデザイン、保守管理
※日本経済研究所が本事業を受託し、他2者に事業の一部を委託したもの

■KL P実行委員会実施

- ・実行委員会（第2回）：実施計画の確認
- ・実行委員会（第3回）：実施内容の確認、5カ年計画の検討
- ・実行委員会（第4回）：実施内容の確認、ツールの検討
- ・実行委員会（第5回）：実施内容の確認、ツール案について
- ・実行委員会（第6回）：実施内容の確認、平成 25 年度の方針の確認
※平成 24 年度第1回実行委員会は委託者選定のために開催されたため割愛

■ K L P 事業の実施

- ・ 移動式こども基地の実施
- ・ 実施者育成ワークショップの実施
- ・ 大規模イベントへの参加
- ・ こども向けワークショップ等の開催
- ・ キッズレザープログラムツールの開発
- ・ 中学生向けパンフレットの作成

■ 広報事業

- ・ 公式ホームページのリニューアルと機能拡充
- ・ ソーシャル・ネットワーキング・サービス等を活用した情報発信
- ・ 各情報発信媒体に誘導する仕組みづくり

■ 事業評価

- ・ PDCA サイクルを実施するための環境づくり

Ⅱ. 平成 24 年度実施内容

1. 実行委員会

(1) 委員名簿

関連事業で活躍する委員 5 名と、社団法人日本皮革産業連合会（以下、「J L I A」とします）の会員 24 団体からご推薦いただいた会員企業のメンバー 9 名による実行委員会を昨年度に引き続き開催しました。さらに J L I A から 2 名を加え、総勢 16 名で構成されています。

実行委員会は 2 カ月に 1 回のペースで開催され、事業を実施する内容の意見交換・決定を行います。

No.	氏 名	所 属 団 体 名	会 社 名	役 職 名 等
1 委員長	瀬 藤 貴 史	桜美林大学 総合文化学群 造形デザイン専修 文化学園大学 文化ファッション研究機構 [BFRJ] (Three Bee Art) (元 東京藝術大学 美術学部 工芸科 染織研究室)		講 師 共同研究員 (助 手)
2	設 楽 敬 一	公益社団法人 全国学校図書館協議会 [全国SLA] (社団法人 教育クラウド協会 [tmc Consortium])		常務理事 事務局長 編集部長 (副会長)
3	梅 澤 元 彦	社団法人 教育クラウド協会 [tmc Consortium] (株式会社 ムーンファクトリー [moonfactory Inc.])		理 事 (代表取締役社長)
4	鈴 木 清 之	PR + プログライター おつかいもの愛好家 デコ・クロ部		書 記
5	成 田 大 輔	株式会社 ザッツコーポレーション [THAT'S]		アカウントマーケティ ング事業部 ディレクター
6	藤 城 康 成	社団法人 日本タンナース協会	墨田産業 株式会社	代表取締役社長
7	村 木 望	大阪革商資材協会連合会	浪速屋工業 株式会社	営 業
8	石 鳥 昇	特定非営利活動法人 日本靴工業会		事務局長
9	矢 代 裕 夫	日本靴卸団体連合会	株式会社 銀座ヨシノヤ	常任監査役 [調査・情報提供 委員会 委員長]
10	麻 生 和 彦	日本服装ベルト工業連合会	株式会社 三竹産業	代表取締役社長
11	片 野 一 徳	一般社団法人 日本ハンドバッグ協会	有限会社 丸ヨ片野製靴所 革クラフト教室 アトリエアミーチ	代表取締役 代 表
12	猪 瀬 昇 一	一般社団法人 日本靴協会	株式会社 猪 瀬	代表取締役 [人材養成委員会 委員長]
13	黒 田 俊 英	日本手袋工業組合	株式会社 クロダ	会 長
14	肥 沼 恭 子	全国皮革振興会	株式会社 協進エル	代表取締役社長

(2) キッズレザープログラム実行委員会（第2回）

開催日時：平成24年6月11日（月） 午前10時から

出席者：18名

【議事】

今年度は大きく分けて「KLP事業」「広報事業」「事業評価」の3つを事業の柱に据えているが、そのなかで特にこどもの育成に重点を置いた事業展開とすることを確認した。

以下各項目について日本経済研究所より計画内容を説明した上で、委員との質疑応答を踏まえ確認した主な事項を整理する。

①KLP事業の実施に関する協議

<KLP事業>

◇移動式こども基地

- ・事業期間中に月2回程度の頻度で実施する。

◇人材育成ワークショップ

- ・事業期間中に月2回程度の頻度で実施する。

◇イベント参加

- ・事業期間中に3回程度の大規模イベントに参加する。

<広報事業>

- ・公式ホームページは情報発信機能に特化し、リニューアルする。
- ・中学生を対象としたパンフレットを作成する。

<事業評価事業>

- ・実施事業に対する委員からの意見や指摘を踏まえ、継続的に内容の改善を図る。

以 上

(3) キッズレザープログラム実行委員会（第3回）

開催日時：平成24年9月10日（月） 午後2時から

出席者：21名

【議事】

事業の実施内容や随時確認された問題事項に対する対応状況の報告と今後の事業実施に関して協議。

以下について日本経済研究所より実施内容を説明し、委員との質疑応答を踏まえ事業実施の方向性を整理した。

①KLP事業に関するご報告

◇移動式こども基地

- ・動物と皮革がこどものイメージの中で繋がる仕組みが求められる。
- ・KLP事業の実施者はJLIAであることを周知徹底する仕組みが必要である。
- ・KLP事業の事業範囲について再度確認した。

◇人材育成ワークショップ

- ・KLP実施者を育成するためのワークショップを積極的に開催し、拡充していく予定である。
- ・事業を実施していくにあたり、広がりを持たせていくための方法を検討しておく必要がある。

◇イベント参加について

- ・イベント全体で10,000人強（大人を含む）の参加者があった。多くのこどもが革と触れ合う機会を創出した。

◇その他KLP事業の開催について

- ・将来的にKLP事業を全国伝播させていくための仕組みを構築する必要がある。

②広報事業に関するご報告

◇KLPホームページのリニューアルについて

- ・既存ホームページについて全面リニューアルを実施した。
- ・KLP事業の内容やイベントの開催情報、同実施報告など、ホームページ

にアクセスすることでタイムリーな情報を入手可能である。

- ・ KLP 事業に関心を抱いた層の誘導を図ることが重要となる。
- ・ 「調べ学習」に対応したつくりとするなど、将来的には教育的情報を盛り込んでいくことを念頭に置いている。

◇ソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した情報発信について

- ・ Facebook と Twitter を活用した広報活動を展開した。前者については事前周知と写真を掲載した結果報告、後者は現地でのタイムリーな情報発信に対応している。

③事業評価に関するご報告

- ・ 事業を進める毎に事業内容のブラッシュアップを図る。
- ・ 実施事業に対して既に改善がなされており、成果が上がってきている。

④その他確認事項

◇5カ年計画について

- ・ 将来的には全国展開を目指し、計画的に準備する。
- ・ 委員間でのビジョンの共有が求められる。

以 上

(4) キッズレザープログラム実行委員会（第4回）

開催日時：平成24年11月15日（月） 午後2時から

出席者：20名

【議事】

事業の実施内容や随時確認された問題事項に対する対応状況の報告と今後の事業実施に関して協議。

以下について日本経済研究所より実施内容を説明し、委員との質疑応答を踏まえ事業実施の方向性を整理した。

①KLP事業に関するご報告

◇移動式こども基地

- ・皮革の配置場所と参加を促す仕組みについて見直しを図った。
- ・こども達が遊ぶためにイメージを想起しやすい仕掛けを工夫した。
- ・皮革や道具の取り扱いについて緩やかにルール化した。

◇人材育成ワークショップ

- ・目的別に段階を分けて開催した。
- ・各種関連団体で作成しているDVDの活用を検討している。

◇ツールの作成

- ・こども基地で蓄積したノウハウをベースにツールの作成を検討している。
- ・中学生向けパンフレットの内容について協議した。
- ・既存の皮革関連商品と差別化を図ることが求められる。

②広報事業に関するご報告

◇KLPホームページの機能拡充

- ・パンフレット「革ってなんだろう？」をベースに新コンテンツを追加した。
- ・KLP事業にご協力いただいている事業者について、トップページにリンクバナーを貼付した。
- ・KLP事業で生まれた作品集を掲載した。

◇SNSを活用した情報発信

- ・KLP事業に参加した方をホームページ等へ誘導する仕掛けとして、QRコード等を入れた案内板を掲示した。また、同案内板を活用し、JLIAが

実施主体であることを周知した。

- ・現場で配布するためのカードについて素案を提案し協議した。

③事業評価に関するご報告

- ・KLP実施者から意見を収集し、今後の事業実施や改善にあたっての参考とすることとした。

以 上

(5) キッズレザープログラム実行委員会（第5回）

開催日時：平成24年1月28日（月） 午後2時から

出席者：19名

【議事】

事業の実施内容や随時確認された問題事項に対する対応状況の報告と今後の事業実施に関して協議。

以下について日本経済研究所より実施内容を説明し、委員との質疑応答を踏まえ事業実施の方向性を整理した。

①KLP事業全般に関するご報告

◇移動式こども基地

- ・これまでと同様の実施したほか、学童保育所でも実施した。
- ・装飾品を中心とした革小物等を作成し、事業終了後に成果品を自宅へ持って帰ることも増加しつつある。
- ・工具の販売先や革クラフトを事業で取り入れたいといった要望がある。そうしたニーズへの対応が課題。
- ・事業全体を通じて消費者の育成のための仕組みを構築していくよう意識する必要がある。

◇人材育成ワークショップ

- ・目的別にワークショップを実施した。ワークショップを通じ、皮革に関する様々な知識や加工技術などを習得した。
- ・皮革製品製造業の現場を視察し、事業者の高度な技術や製品へのこだわり、製品ができるまでの工程などを学んだ。

◇イベント参加について

- ・約300人のこどもが参加した。気象条件が悪く、想定よりも参加者数は伸びなかった。

◇KLPツールの作成について

- ・3月開催のイベントで活用することを想定している。
- ・幼児向けツールは概ね完成段階に入っている。
- ・ツールの作成にあたっては、手を広げすぎずに高い効果が見込めるものを厳選して進めること。

・中学生向けパンフレットについては掲載情報を精査し、練り直す必要がある。

◇広報事業について

・案内カードを作成し、現場で配布を開始した。
・ソーシャル・ネットワーキング・サービスの定期購読者数については目標値を達成した。

②KLPの愛称について

・KLP事業について特に愛称は定めないこととし、事業に参加することも「かわっこ」と呼ぶこととする。

③次年度事業方針について

・平成25年度事業については、今後、KLP事業を全国展開していくために足場を固める1年とする。

(6) キッズレザープログラム実行委員会（第6回）

開催日時：平成25年3月4日（月） 午後3時から

出席者：19名

【議事】

事業の実施内容や随時確認された問題事項に対する対応状況の報告と今後の事業実施に関して協議。

以下について日本経済研究所より実施内容を説明し、委員との質疑応答を踏まえ事業実施の方向性を整理した。

①KLP実施事業全般に関するご報告

- ・KLP事業、広報事業、事業評価について今年度の実施内容を総括した。
- ・教育機関で実施したKLP事業の内容と現地の反応について報告した。
- ・3月のKLP事業のスケジュールと実施内容について報告した。
- ・KLP事業に関するJLIAの立場を明確化するための方策について提案のうえ、協議した。
- ・ホームページ機能の充実について素案を提案し、協議した。

②KLPのツール作成について

- ・中学生向けパンフレットについて素案を提案し、内容について協議した。
- ・作成したKLPツールについて実物を持参し、実演した。

③KLPの愛称について

- ・前回委員会で承認を受けた「かわっこ」に関する対応について協議した。

④平成25年度 KLP実施事業の方針について

- ・前回委員会で承認を受けた平成25年度事業の方針に関し、事業の窓口機能の追加方法を提案した。

⑤平成24年度 KLP実施事業 報告書（案）について

- ・平成24年度の報告書案について説明した。

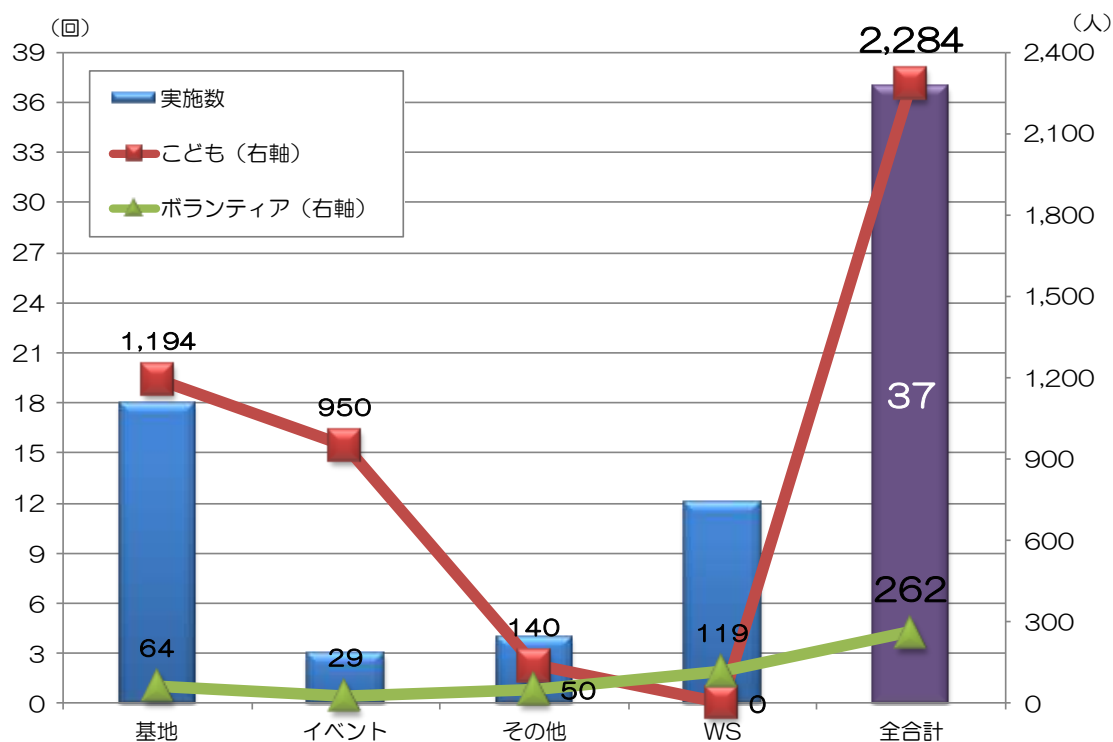
2. KLP事業

(1) KLP事業全般の実施状況

今年度のKLP事業（移動式こども基地、イベント参加、その他KLP事業、KLP実施者育成ワークショップの4事業）につきましては、通算で37回実施することができました（平成25年3月1日現在）。

実施場所は10地域（東京都、仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、さいたま市、市川市、横浜市、妙高市、伊那市）にまたがり、参加者数はこどもが延べ2,284人、実施者が延べ262人にのぼっています。

個々で見れば小規模な取り組みですが、繰り返し実施することにより、こどもが皮革に触れて身近に感じられるきっかけを数多く創出することができました。また、こどもの保護者や実施者として事業に参加する大人世代についても、皮革に関する知識の習得や皮革製品について改めて考えてみる機会を付与することができたと考えています。

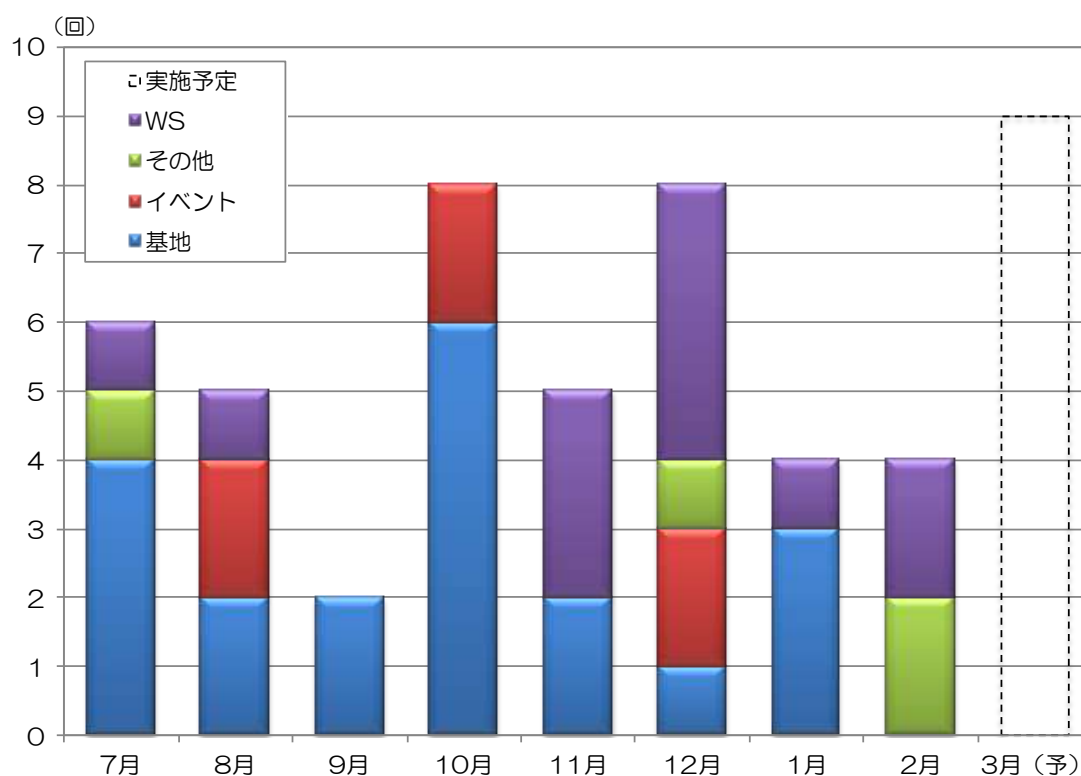


(2) KLP事業の月別種類別開催状況

実施してきたKLP事業を月別・種類別に見てみると、月平均実施回数は4.6回、最大開催月は8回、最小開催月は2回であったことがわかります（平成25年3月1日現在）。

大型イベントは隔月の参加となりましたが、移動式こども基地や実施者育成ワークショップに関しては概ね満遍なく実施することができました。

その他KLP事業として、平成25年2月に東京都内の公立小学校の理科室をお借りして出前授業を実施し、こども達のみならず、保護者の皆さまからも高い評価をいただきました。このことは、次年度以降、教育関係機関と連携を図っていくうえで大きな足掛かりになるものと考えています。



3. 広報事業

(1) ホームページのリニューアルと機能の拡充

昨年度制作したホームページについて、情報発信機能に特化して全面的にリニューアルし、開催するイベントの情報やこれまでの活動実績、皮革についての基礎知識やその歴史など、提供する情報の機能拡充を図りました。

① トップページ ～全体～



おしらせ information ▶一覧を見る

- 2013.01.15 1月19日(土)～20日(日) 第12回神田小川町雪だるまフェアを開催します。
- 2012.12.13 12月15日(土)～16日(日) さいたまキッズなCity2012を開催します。
- 2012.11.30 JLIAホームページのJLIA TVに「こどものまら・いしのまき 2012」をアップしました。
- 2012.11.30 みんなの作品集のページをアップしました。
- 2012.11.09 「革ってなに?」のパンフレット(PDF)がダウンロードできます。
- 2012.10.31 「革ってなに?」のページをオープンしました。
- 2012.10.21 2012年10月27日(土)～28日(日) 神田スポーツ祭り2012を開催します。

Kids' Leather Programsとは?

実際に革に触れ、革製品づくりを体験できる機会を提供することで、本物の革の良さ、革に対する正しい知識、革製品づくりの楽しさ、などを知ってもらい、将来、「消費者」として、「生産者」として皮革産業とかがわることになる「こども達」に皮革文化を学び育んでもらうことを目的としています。

イベント情報 event ▶一覧を見る

- 子ども向け**
移動式子ども基地
2013年3月23日(土) 時刻未定
@アーツ千代田3331 (千代田区外神田6-11-4)
- 子ども向け**
「3.11 Pray∞Love,Day」
2013年3月11日(月) 時刻未定
場所未定
- 子ども向け**
第9回ワークショップコレクション
2013年3月9日(土) 11時～17時
2013年3月10日(日) 10時～17時

イベントカレンダー calendar

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	2月1日	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23

leatherkids leatherkids

leatherkids test
23 hours ago · reply · retweet · favorite

leatherkids test
4 days ago · reply · retweet · favorite

leatherkids 今日も大盛りあいです! 革嚢帯づくりや革ベルトづくりで盛り上がってまーす♪
17 days ago · reply · retweet · favorite

leatherkids 宮城県石巻市南境第4仮設団地に革っ子あつまれ～今日はどんなものが生まれるかな～?
17 days ago · reply · retweet · favorite

Join the conversation

①トップページ ～全体（続き）～

県横浜市港北区日吉4-1-1)



こども向け
江戸古町祭り
2013年3月9日（土） 11時～16時
◎旧今川中学校（千代田区神田鍛冶w町2-4）



予定を表示するタイムゾーン: 東京 [Googleのカレンダー](#)
カレンダーを拡大する



Facebookもチェック
Kids' Leather Programs
いいね!
113人がKids' Leather Programsについて「いいね!」とっています。





11月03日は
"いいレザーの日" **JLIA**
www.jlia.or.jp



こどもはーだぜ!

皮革をご提供いただいているみなさま



Flathority



MITSUKI SANGYO



株式会社 **クワダ**



Tochigi Leather
since 1937



TAKASHIN CO., LTD.



革育
[川] 産 川 靴

[↑ トップへ](#)

[お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [Home](#)


※本事業は、社団法人 日本皮革産業連合会によって運営されています。

社団法人 日本皮革産業連合会 (JLIA)
〒111-0043 東京都台東区駒形1-12-13 皮革健保会館 7F
tel.03-3847-1451 fax.03-3847-1510

JAPAN LEATHER AND LEATHER GOODS INDUSTRIES ASSOCIATION All Right Reserved

①トップページ ～お知らせ～



 お知らせ information

- [2013.01.15 1月19日\(土\)～20日\(日\) 第12回神田小川町霞がらまフェアを開催します。](#)
- [2012.12.13 12月15日\(土\)～16日\(日\) さいたまキッズなCity2012を開催します。](#)
- [2012.11.30 乳児ホームページの乳児TVに「こどものまち・いしのまき 2012」をアップしました。](#)
- [2012.11.30 みんなの作品集のページをアップしました。](#)
- [2012.11.09 「革ってなに？」のパンフレット\(PDF\)がダウンロードできます。](#)
- [2012.11.08 2012年11月10日\(土\) 気仙沼市で移動式こども基地を開催します。](#)
- [2012.10.31 「革ってなに？」のページをオープンしました。](#)
- [2012.10.21 2012年10月27日\(土\)～28日\(日\) 神田スポーツ祭り2012を開催します。](#)
- [2012.10.15 17日\(水\) Kids' Leather Programsの活動が「めざにゅ〜\(フジテレビ系\)」で放送されます。](#)
- [2012.10.14 こどものまち・いしのまき 10/13\(土\) 14\(日\) 活動報告を更新しました。](#)
- [2012.10.10 2012年10月15日\(月\)10:00～16:00にサーバのメンテナンスを行います。](#)
- [2012.09.21 2012年10月08日\(月・祝\)に「こどもがつくるまち全国サミット2012」を開催します。](#)
- [2012.08.20 2012年08月25日\(土\)にNHK防災パーク2012にて「移動式こども基地」を開催します。](#)
- [2012.08.20 Kids' Leather Programsのサイトをリニューアルオープンしました！](#)

①トップページ ～イベントカレンダー～



イベントカレンダー calendar

今日 2013年 3月

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	3月 1日	2
3	4	5	6	7	8	9 親子型ワークショップ 江戸古町祭り
10 親子型ワークショップ 3.11 PrayerLo	11	12	13	14	15	16
17	18	19 春分の日	20	21	22	23 特設式こども基地
24	25	26	27	28	29	30
31	4月 1日	2	3	4	5	6

予定を表示するタイムゾーン: 東京



②Kids' Leather Programs について



Kids' Leather Programs について ABOUT

Kids' Leather Programs の目的

1. 小学生や中学生のみなさんに、
本物の革を手にとってもらったり、
革製品づくりを体験したりできる
機会を提供すること!



2. 小学生や中学生のみなさんに、
革とはどういうものかということや、
革の歴史・文化・革製品づくりの
楽しさなどを学び、知ってもらうこと!



こうした活動を通じて、小学生や中学生のみなさんが大人になった時に、革の製品を使いたいと思ってくれたり、革に関わるお仕事をしてみたいと思ってくれたりするようになるといいなと考えています。

そうすることで、日本が長い歴史の中ではくんできた皮革文化や伝統技術を未来へ受け継いでいくことができるものと信じています。

運営団体の紹介

「Kids' Leather Programs」事業は、社団法人 日本皮革産業連合会が運営しています。私たちは、皮革および皮革製品の生産・流通・貿易に関する各種施策の総合調整・技術開発・普及啓発などを実施することにより、皮革産業の総合的な振興・発展および連帯強化を図り、もって我が国産業の発展および国民生活文化の向上に寄与することを目的として設立されました。2012年8月現在、原材料の供給から、革製品の販売までを行う25の団体が会員になっており、皮革産業の振興に取り組んでいます。

③革ってなに？ ～革ってなに？～



🦌 革ってなに？ what is leather?

革ってなに？



何千年もまえの原始時代のことです。人間は木の実をとったり、動物やさかなをつかまえてくらししていました。お肉を食べたあとのほねも皮もたいせつな道具としてつかわれました。皮と人間はとてもながいつきあいです。



- ➡ 「革」と「皮」
- ➡ 革ができるまで
- ➡ 革のちがい
- ➡ 革のとくちよう
- ➡ 革をさがしてみよう



人間は服をきています。そのおかげで、寒いばしょに行ったり、ころんでもスリキズができにくかったです。でも、動物は寒いばしょでも服をきていませんし、ころんでもへいきな顔をしています。だから、原始時代の人たちは動物の皮を服やくつなどによりようして、からだを守りました。



③革ってなに？ ～「革」と「皮」～



革ってなに? what is leather?



「革」と「皮」



何千年もまえの原始時代のことです。人間は木の
実をとったり、動物やさかなをつかまえてくらし
ていました。
お肉を食べたあとのほねも皮もたいせつな道具と
してつかわれました。皮と人間はとてもながいつ
きあいです。

- ⇒ 「革」と「皮」
- ⇒ 革ができるまで
- ⇒ 革のちがい
- ⇒ 革のとくちょう
- ⇒ 革をさがしてみよう

「皮」はそのままでは、すぐにかたくなってしまったり、くさってしまったりします。
そこで、ていねいに水であらってから、くすりを
つかってやわらかくして、くさらない「革」
にします。
ここで、「皮」は「革」となって生まれかわる
のです。

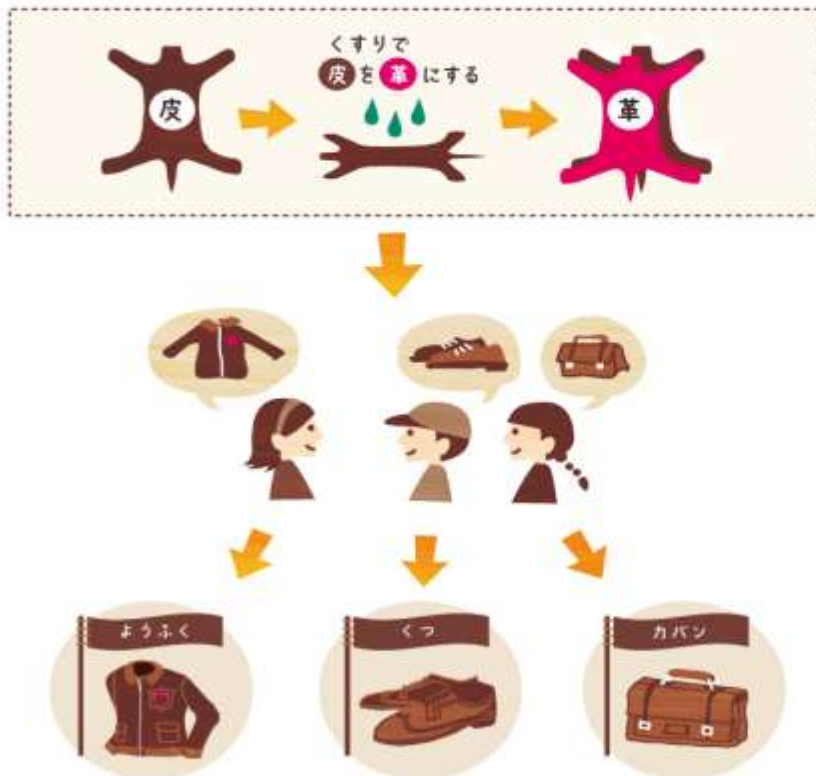


③革ってなに？ ～革ができるまで～



革ってなに？ what is leather?

革ができるまで



- ⇒ 「革」と「皮」
- ⇒ 革ができるまで
- ⇒ 革のちがい
- ⇒ 革のとくちょう
- ⇒ 革をさがしてみよう



わたしたちも原始時代の人とおなじように、お肉を食べています。そのお肉にもじょうぶな皮がついていました。

その皮をたいせつに利用して、くつやカバンなど、わたしたちのまわりにあるものをつくります。まず、「皮」をていねいに水で洗ってから、くすりをつけてかわかします。そうしてできた「革」のやわらかさや大きさ、色などのとくちょうに合わせてものを作っていきます。丈夫で長持ちするくつやカバンを作るには、たくさんの人たちが、たくさんのおしごとをしています。

③革ってなに？ ～革のちがい～



革 革ってなに？ what is leather?

わかるかな？革のちがい

くつやカバンなどには、いろいろな革が使われています。動物は、ブタ・ヒツジ・ヤギ・ウシ・ダチョウ。

は虫類は、ワニ・トカゲ・ヘビ。それぞれちがう、「もよう」や「とくちょう」があります。



- ⇒ 「革」と「皮」
- ⇒ 革ができるまで
- ⇒ 革のちがい
- ⇒ 革のとくちょう
- ⇒ 革をさがしてみよう



③革ってなに？ ～革のとくちょう～



革ってなに？ What is leather?

革のとくちょう

可塑性 (カクセイ)



革は、ガラスやゴムとちがいで、水でぬらしておくと、その形のままかたまります。このように、力をくわえて形をかえたあとに、力を取りさってもそのままの形でいることを可塑性といいます。革でものを作るときにべんりなとくちょうです。

剛性 (ゴウセイ)



曲げたりねじったりする力をくわえても、形がかわりにくいことを剛性といいます。革は、この剛性に、もとの形にもどろうとするせいしつがくわわって、美しい形のままでいることができます。

透湿性 (トウシツセイ)



空気をとおすことを通気性、水分をためないことを透湿性といいます。革は、布より通気性は少なく、透湿性が高いので、冬でもあたたかい上着やくつなどに使われています。



革ってなに？

- ⇒ 「革」と「皮」
- ⇒ 革ができるまで
- ⇒ 革のちがい
- ⇒ 革のとくちょう
- ⇒ 革をさがしてみよう



③革ってなに？ ～革をさがしてみよう～



革 革ってなに？ what is leather?

まわりの革をさがしてみよう

革は、みんなのまわりにたくさんあるよ。いくつみつかるかな？どんなものに使われているかな？やわらかいかな？かたいかな？みんな、じょうぶで長持ちするものばかりだね。



- ⇒ 「革」と「皮」
- ⇒ 革ができるまで
- ⇒ 革のちがい
- ⇒ 革のとくちょう
- ⇒ 革をさがしてみよう



④革の歴史 ～革のはじまり

革の歴史 history

革のはじまり



人類と皮革との歴史は古く、およそ200万年前の旧石器時代にまでさかのぼります。狩猟によって生活を営んできた人類は、寒さや衝撃から身を守るために毛皮や革を活用してきました。旧石器時代の遺跡からは、皮革の加工に使用した道具が発見されており、それを使って除毛などを行っていたものと推測されています。人類は、歴史の中で「皮」を「革」にする「なめし技術」や、革を製品にする「加工技術」を創意工夫し、伝承してきました。

動物の皮はそのままにしていると硬くなったり腐ったりしてしまいます。変化しやすい「皮」を長持ちする「革」に生まれ変わらせる技術は、人類の歴史とともに発達してきました。最初は乾かすだけでしたが、柔らかくするために、もむ、叩くといった作業を行うようになりました。さらに柔らかく仕上げるために開発されたのが魚や動物の油脂を塗る「油なめし」で、これは最古のなめし技術と考えられています。また、囲炉裏の近くにかけておくと腐敗しないことから始まった「くん煙なめし」、倒木のそばで死んだ獣の皮や染色のために草木の汁に漬けた皮が腐らないことから発見された「植物タンニンなめし」など、様々ななめし技術が開発されてきました。



そうして加工された革は、衣服として利用されていたばかりでなく、寝具、武具、鞍などの様々な用途に利用されていたと考えられます。また、メソポタミアや古代エジプトでは、革製の巻物を書き物の道具に用いていたと伝えられています。中世までは羊や山羊の皮を乾燥させた羊皮紙が重要な記録用紙として使用されてきました。羊皮紙は非常に耐久性が高いため、紀元100年以前の巻物など数多くの資料が残されています。

19世紀後半になると薬品を使用したなめし技術が開発されました。金属を原料とした「クロムなめし」です。クロムなめしは作業時間が短く、経済性に優れることから、革の量産が可能となりました。クロムなめしでなめした革は柔らかく、保存性、耐熱性、染色性が良いため、靴やバッグ類、衣料など、広く用いられています。



④革の歴史 ～世界の革文化～



世界の革文化



欧州

イタリア

革文化が深く根付いており、ルネッサンス期には金唐革（きんからかわ）と言われる壁装飾用の革が作られるなど、インテリアにも革が用いられてきた歴史があります。また、1000年以上も続くバケッタという製法（植物タンニンなめしの一種）を守り続けています。



イギリス

イギリスの革の歴史は乗馬が始まりと言われていてます。丈夫な馬具を作るため、ロウを繊維にしみ込ませ、耐久性の高いプライドルレザーが開発されました。こうした背景から、丈夫な革を加工する技術に秀でており、世界的に有名な紳士靴のブランドも数多く存在しています。



フランス

染料後に顔料を塗るフランス独自の製法により発色が良いことが特徴です。世界的に有名なファッションブランドが多いため、エレガントな革が好まれる傾向にあり、上質な革が各地から集まります。



アフリカ

アフリカは、ワニ、ダチョウ、象、ヘビ、トカゲなど数多くのエキゾチックレザー（家畜以外の動物全般の総称）の革の産地となっています。サイズが大きい動物が多いことが特徴です。



北米

食用として牛肉を大量に消費するため、牛革のなめし技術も必然的に発達しました。また、ネイティブアメリカンの美しい工芸品も重要な革文化として残っています。



中南米

多種多様な生物が生息する中南米は、ワニやヘビ、トカゲの皮の産地として知られています。また、ヤギなどの家畜からも毛皮や革製品を作る文化が根付いています。



アジア

日本

古くは鹿革が中心で、武具や馬具のほか、衣類や履具などの日用品としても幅広く愛用されてきました。江戸時代頃から牛や馬の革も用いられるようになり、明治時代から豚革が使われるようになりました。同じ日本の中でも、気候や文化、歴史的背景により革文化の特徴は異なっています。



東アジア

羊皮と豚皮の薄物革の生産量はともに世界第1位と言われています。2002年には中国でも本革エコマーク基準が制定され、環境に配慮した取り組みも始まっています。



東南アジア

ワニの養殖が大規模に行われている東南アジアでは、食用としてだけでなくワニ革も革製品に活用されています。中でもイリエワニは模様的美しさに定評があり、ワニ革の中で最上級品とされています。



南アジア

インドやパキスタン、バングラディシュはなめし産業の集積地で、特に熱帯気候ゆえの薄い革が作られているのが特徴です。



オセアニア

サメ、ダチョウなどの高級皮革の産地として知られています。また、オーストラリアでしか生産されていないカンガルー革は、丈夫さとしなやかさを兼ねそろえ、非常に軽いためスポーツシューズ等によく用いられています。



参考資料

竹之内一昭『世界の古い革』2006.3.1

R.J.フォーブス著 平田寛他監訳『古代の技術史下・Iー日常の品々1ー』朝倉書店 2008.6.30

『日本の革3〈エイムック2063〉』エイ出版社(2010.10.28)

『日本の革4〈エイムック2279〉』エイ出版社(2011.10.27)

[社団法人 日本皮革産業連合会「皮革用語辞典」](#)

[日本手袋工業組合ホームページ](#)



⑤移動式こども基地



移動式こども基地 kodama kichi

こどもの笑顔があふれるまちづくり



「移動式こども基地」は、みんなで楽しく絵を描いたかわいいトラックに、革をはじめ木の枝や布、新聞紙、絵本、グッズ、文具、玩具などの材料をいっぱい積み込んで、こどもが安全に遊べる遊び場を“出前”しています。『こどもの笑顔がたくさんあるまちをつくとともに、まちでこどもを育てる環境をつくる』ことを目的として誕生しました。

「移動式こども基地」は、全国各地のみんなのところへお出かけしています。プレイリーダーのお兄さん・お姉さんと一緒に、いろいろな道具を使った革遊びや創作遊び、職人体験、路上遊びなどを楽しんでみませんか？ きっとたくさんの人や物、いろいろな遊びと出あえる場になりますよ。

● イベント情報をチェック！

● みんなの作品集をチェック！



⑤移動式こども基地 ～こども基地が行く！！～

ルート・乗換案内 マイブレイス 保存 印刷

マイブレイスに保存

移動式子ども基地が行く！

「移動式子ども基地」は、全国各地のみんなのところへお出かけしています。プレイリーダーのお兄さん・お姉さんと一緒に、いろいろな道具を使った革遊びや創作遊び、職人体験、路上遊びなどを楽しんでみませんか？ 今度はあなたの街に行くかもしれませんよ。

一般公開 - 表示回数 934
2012年8月13日作成・投稿 青・1月21日更新
この地図に評価を付ける・コメントを投稿する・HTML

航空写真
交通状況

50 マイル
100 km

- ちのちのけいぎの会主催 移動式子ども基地 2012年07月14日(土) 15時～17時
- ちのちのけいぎの会主催 移動式子ども基地 2012年07月21日(日) 15時～18時30分
- ちのちのけいぎの会主催 移動式子ども基地 2012年07月21日(日) 15時～18時30分
- ちのちのけいぎの会主催 英語者WS 2012年07月29日(日) 10時～
- ちのちのけいぎの会主催 移動式子ども基地 2012年07月31日(火) 12時～16時
- ちのちのけいぎの会主催 移動式子ども基地 2012年08月01日(水) & 02日(木) 10時～12時30分
- ちのちのけいぎの会主催 四季の教育学校 2012年06月06日(月) 14時30分～17時
- ちのちのけいぎの会主催 NHK防災パーク2012 2012年08月25日(土) & 26日(日) 10時～1時
- ちのちのけいぎの会主催 移動式子ども基地 2012年08月18日(日) 12時～17時
- ちのちのけいぎの会主催 移動式子ども基地 2012年08月21日(金)～23日(日)
- ちのちのけいぎの会主催 こどもがつくるまち全国サミット2012 2012年10月06日(月・祝)

⑦みんなの作品集



茶 みんなの作品集 works



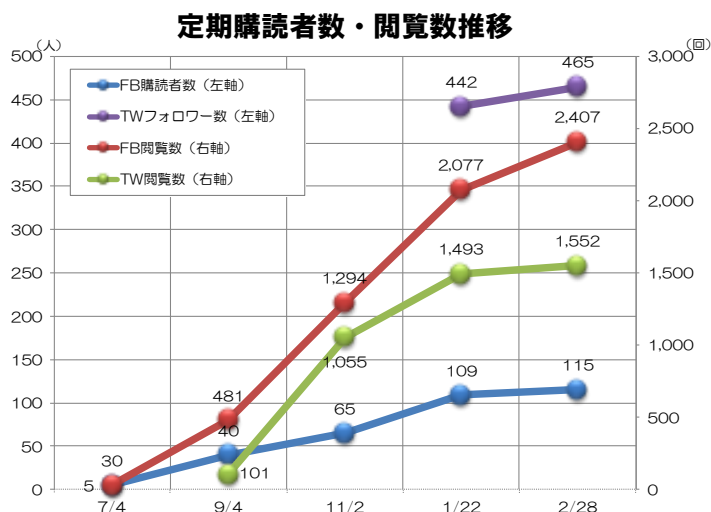
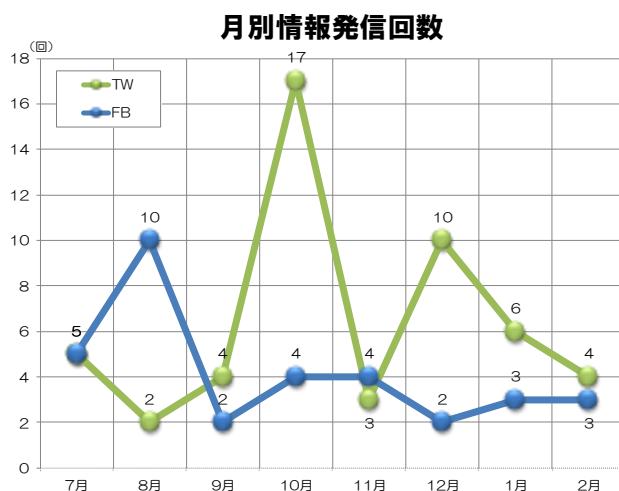
(2) ソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用

① ソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した情報発信

情報発信については、ホームページにアクセスしていただいた方に情報提供する、いわば受け身の情報発信のみならず、国内でも利用者が増加している Facebook や Twitter といったソーシャル・ネットワーキング・サービスも活用し、積極的にKLP事業の情報発信を行ってきました。

Facebook はKLP事業の実施案内や実施風景、実施内容を報告することによって、長期的な視座でのファンづくりを目的とし、Twitter はリアルタイムの情報を随時提供することによりKLP事業当日の誘客を図ることを目指すなど、目的に応じて使い分けています。

いずれも定期購読者数、閲覧者数は順調に増加しています。また、定期購読者を通じ、そうでない方にもKLP事業の話題が伝播しており、事業の認知度を高める意味で高い波及効果が生まれています。



②ネームカードの作成

KLP事業の参加者に、ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスの存在を認知していただくため、事業の目的や各情報発信媒体のURLを記載したネームカードを作成しました。

配布開始後、ソーシャル・ネットワーキング・サービス定期購読者数の増加が認められています。

ネームカード表面



ネームカード裏面



4. 事業評価

事業期間を通じてPDCAサイクルを運用してきました。特に移動式こども基地をはじめとしたKLP事業は実施回数が多いことから、経験やノウハウの蓄積のみならず、そこで得た課題や反省点も事業の品質向上につなげていくため、実施者に対してアンケート調査を実施し、実施者の目線から気付いた事項等について声を拾ってきました。

このことにより、例えば皮革の扱い方や工具等の設え方、事業実施の際の展示方法の工夫による効果の最大化、こどもが喜んだポイントなど、現場ならではの意見が集まっています。

こうした意見を精査し、ひとつずつ改善につなげていくことによって、KLP事業の品質向上はもとより、保護者を含めた参加者の皆さまにとってより楽しめる環境を整備しています。

KLP事業 実施者アンケート	
◆イベント開催日：平成 年 月 日（曜日： ）	
◆年齢： 歳 ◆性別： 男 ・ 女	
◆こども基地で革の担当になった回数：今回が 回目	
1. 革を使ってこどもと遊んだ感想を教えてください (感じたこと、困ったことなどを具体的に教えてください)	
2. こどもはどのような反応を示していましたか (こどもの実際の行動や声などを具体的に教えてください)	
3. これから革のワークショップを実施した場合、あなたは参加を希望しますか。また、ワークショップではどのようなことを学んでみたいですか	
4. 革を使った新たな遊びや作品、発見など、何かお気づきのことがあればご自由にご記載ください	
ご協力ありがとうございました	
※ このアンケートはKLP事業の実施に役立つ目的以外には使用しません	

Ⅲ 平成 24 年度事業考査と今後の展開

【平成 25 年度事業の方針】

「全国展開を図っていくうえでの足がかりをつくる基盤強化の一年」

平成 24 年度事業については、長期的視座に立って3つの事業目的の達成につながることを念頭に置きながら、顧客満足度を最大限まで高めるよう試行錯誤してきました。

PDCAサイクルを構築して随時事業を見直しながら、課題や問題点等を明確にし、KLP実行委員会にて対応策を諮ったうえで改善に努めてきたことにより、参加していただいた皆さまに満足いただけるようなサービスへと発展させられたものと考えています。

その一方、KLP事業を実施していくなかで当初想定していた以上に様々なニーズがあることもわかりました。本事業を一過性の取り組みで終わらせることなく持続的な発展につなげていくためには、寄せられる多くの声に対して、臨機応変に、かつ、着実に対応していくことが求められているものと認識しています。

こうしたことから、次年度事業につきましては、今年度事業で培った経験やノウハウを活かしながら、将来的にKLP事業の全国展開を図っていくための基盤を作っていきたいと考えています。